

220余名の参加。大盛会の総会・懇親会でした。

第二十八回 静中・静高関東同窓会

総会・懇親会が開催されました

総務委員長 野方 重人

本年度総会・懇親会が七月五日、千代田区神田駿河台のJRお茶の水駅近くの「中央大学駿河台記念館」に二二〇余名の同窓会員が集い、午後六時から三時間盛大に行われました。本年は関係者各位の努力の甲斐あって昨年までと比べて出席会員の数が倍増し一層賑やかな会になりました。

本年度の同窓会の運営は80期が担当し81期がアシストして開催されましたが、担当者は役員及び各期幹事と協力し創意工夫を凝らして出席会員から大いに喜んでもらえる会となつて滞り無く終わる事が出来ました。

総会は校歌斉唱で幕を開け、続いて77期野方重人副会長を議長に選出して、同議長の下で議事に入り、77期清水雅尚理事（会計委員長）が昨年度事業及び決算報告、71期後藤弘枝と89期



静中・静高関東同窓会
会報 第54号
平成14年12月20日発行
編集人 山梨由記



齋藤 孝さん（95期）の講演

鳥巢修岡幹事が監査報告を行い承認された。続いて清水理事から本年度事業計画と予算が発表された。最後に近年の会費納入状況の厳しい事情を説明し、各会員の理解協力を求め、同窓会運営の一層の充実を図りたい旨の上杉会長の挨拶で総会を終了した。引き続き懇親会に入り、来賓としてお迎えした森慎吾本部同窓会副委員長（64期）、横澤幸仁母校教頭、藤山正弘本部同窓会事務局長（81期）の各氏からご挨拶を戴いた。かねて出席を危ぶまれていた遠山敦子文部科学大臣（73期）のご都合がつき出席された。折角の機会という事で約20分にわたつてスピーチをお願いした。高校時代のこと、トルコ大使時代のこと、最近の文部科学行政等につき、短い中にも有意義なお話があった（詳細は別稿参照）。懇親会でも他の会員との和やかな一時を過ごされました。

ゲストスピーカーとしてお迎えした齋藤孝さん（95期）の来場が予定より遅くなったが、同氏から約40分間の面白く興味深いスピーチをして戴いた。同氏は母校を卒業後、東京大学大学院を経て、現在明治大学文学部助教授として教鞭をとっている傍ら「心と身体に関わる身体文化」の復権を指して執筆活動のみならず講演活動を精力的に行っている。現在注目満点の極めてユニークな教育者である。主として呼吸を整え、全身を使って、美しい日本語を朗唱する法について話された（詳細は別稿参照）。その内容も素晴らしかったが、聴衆の気を逸らさない軽快なテンポの話法に会員一同、時間の経つのも忘れて聞き入った。懇親会はスピーチ後の齋藤氏を囲んで写真を撮るなど楽しい一時を過ごし、和気藹藹の内に終了した。

遠山文部科学大臣のお話

73期遠山 敦子

昭和三十二年に卒業しましたので、四十年になると言う事でございます。今日は、なんか久しぶりに、この会に出させていだいた訳でございます。四十年の間は、国家公務員と致しまして、色んな仕事をやらせて貰いました。当時の文部省に入り、初のナントカ（全庁の中で初の女性課長・局長）と言われて仕事を参りました。三十四年間、お国のために働いたので、これで良いのかなと思いましたが、その直後に突然トルコに行つて来いとなりまして、本当に驚天動地でございます。でも、新しい仕事をやって見るのも良いかなと思ひ引き受けて行つて見たところ、これは中面白経験させて貰いました。それは、本当に、特命全権大使は日本を代表するものがございますから、どんな事があるっても、大使の責任と言う事でございます。その意味で本当に面白いと同時に責任の重い仕事でございます。この

間、実はワールドカップのサッカーで、これは私の今の仕事です。スポーツも持っているのですから、なんとこういう事は絶対ないだろうと思つていましたが、日本とトルコが決勝トーナメントの第一戦で対戦する事になりました、良く聞かれたのですが、「大臣は、一体どちらを応援するのか」とね。「それは日本ですよ」つて。それは私はトルコが大好きです、色々良い思い出も有りますが、トルコ人は本当に愛国者なんです。ですから、たとえば国歌の前奏が流れ出すとどんな処にいても、全員が立ち上がつて胸を張つて国歌を歌い出すんですね。家々の窓には国旗が何かのセレモニーの様子を表わす国なんでしょう。ですからトルコ人は国民として国を愛するのは当然であると言つて。ですから、私がおし、前のトルコ大使だから「トルコを応援するわ」と行つたら「貴方は日本人ではないのか」と言われる理由で、私は「断然日本を応援する」と言う事で、サッカー会場の仙台まで行つた訳です。

私には、どちらかといえば晴れ女でございます。トルコに在る間も大臣に就任してからも出張先で雨が降つた事が無いのです。ところが仙台の駅に降りましたら凄雨でございまして非常に「これは調子の悪い」「ひよつとしたら」と言う事を口に出しましたらいけないと思ひ、じつと耐えていました。そのサッカーの責任者でございますからVIPの席に付きましたら、実は隣に駐日トルコ大使がおりまして、二人並びながらお互いに別の方を応援しながら……。結果は大変残念な事でありました。ともあれトルコでの体験は私にとつて大変良い経験で有りました。で、三年二ヶ月やりまして、マア一これで今度は良いだろうと。これからは静高のいろんな会にも出られるだろうと思つたら、これまた、突然今のポジションに指名されました。これは本当に思ひがけない事でありましたし、私は学生時代からとにかく政治には関わりたくない。これが私の信念でありました。従ひまして、ほんとうに困つた訳で有りました。

しかし「三顧の礼」と言う事であれば拒否する程の人間でも無い訳ですから受けた訳であります。入つてみますと私が文部省にいて大臣にお仕えした頃とは様変わりなんです。科学技術と言う非常に大事な分野がボンと一つ増えまして今は教育・科学・文化・スポーツでございます。外国の大使が来られますと「貴方は我が国の四人分五人分の仕事をしておられる。どうしてそんなに出来るのか」とおっしゃいます。実は、私が（大臣に）就任した直後にトルコにも広報してくれまして「前の日本大使が大臣になつた」と。ところが遠山大使はトルコに居たときも大変活躍したのだが、今や内閣に入つて、何とトルコにおける五人の大臣の仕事をしている。それに比べてトルコは一体なんだと言う新聞が出て、私はもうこれからトルコに行けないのではないかなと思つている訳であります。それからもう一つ、構造改革と言う大変大きな日本の転換期に着任させられた訳でございます。丁度教育改革も進んでおりまして、そう言う激流の中に流される舟の船頭と言う感じで、今も暮らしている訳でございます。

ます。小・中等教育における確かな学力を身につけさせる事、大学改革とか特殊法人の統合再編でありますとか、朝から晩まで仕事をさせていただいております。

一見元氣そうに見えるかも知れませんが、中仲大変である事も確かです。しかし、（文部科学省に）行つた以上、さわやかにやると言うのが私の信念でございます。

なぜか私の拙書とも言うべき本（トルコ世紀のはざま）をこの会場で販売されるので大変嬉しく思います。今日の講演者の齋藤孝さんは百万部という大ベストセラーでございますが、私のは本当に心をこめて書いた、ささやかなものでございます。一人の人間が思ひがけない経験をしてその経験を通してまったく異なる文化を理解する事の意味を書き込んだかなと思つております。今のポジションは仮のものですから、どうぞこれからは私はずっと変化がないのですから皆様の仲間として仲良くさせて頂けたら大変嬉しく思いますのでよろしくお願い致します。

齋藤 孝さん (95期) の講演内容

先輩方、皆さん方をお待たせ致しまして申し訳ございません。今日の講演を本当はお断りをしようと思っていました。遅くなってすみません。

今、日本語が崩れて来ているのに子供に与えているレベルが低すぎているのではないかと、子供はもっと凄い事が出来るのに与えている大人の方が自分のレベルで設定して、それを子供に押し付けてしまふのがいけないと思います。

白浪五人男の「知らざあ、言って聞かせやしよう」という、「声に出して読みたい日本語」に最初に入れたのも、それなんです、今日は時間が無いので一緒に皆さんと出来ませんが、あれは、歌舞伎なんです、今日は元NHKの山川静夫さんの専門で：静高はなんて奥深いものですね。山川さんのいる前で大変お恥ずかしいのですが、ああ言うの中で、私は身体の事をずっとやってきまして、空手とかスポーツとか、気功とかです。学校ではあんまり呼吸

法なんか教わらない。私は呼吸法研究が長くて呼吸法を二十代の後半ずっと五年から七年やって、結婚して五年間位、就職がなかったですね。非常に暗い過程でして、呼吸法を



講演終了後の齋藤孝さんと上杉会長を囲んで

研究として認める風土つてのが無いのです。それを教育研究としてやって来た訳ですが、修士論文は指圧系だったので、いよいよ理解されない。この指圧というのは教育の基本でして、指圧をするのにも技が必要ですが、指圧を受けるのも技がある。指圧の受け上手と受け下手があります。そ

れは、身体をうまく緩める事が出来るか。で、緩めてその角度を探してうまくはまる。うまく身体の芯に届くような押し方と言うのがあるのです。これと同じ様に身体の芯に響く日本語と、そうでない日本語と言うのがある。で、そう言う身体の、こう、芯を作る事と心の芯を作る事を同時にやりたい。明治大学に勤めてまして、まず四股を踏ませ、因みに、四股を踏めない子が圧倒的に多いです。中央公論の表紙で私が、イチローがやっている「肩入れ」をしている、股を入れてる写真があつて、それを見た学生が、自分は今まで恥ずかしがっていたのに、アレを見て勇気が沸いて来た。世の中恥じながら無いんだと発表してくれましたが、確かにイチローがウエイティングサークルでやっている：あれは、股関節を柔らかくする、肩甲骨を柔らかくすると言う事です。私も短気でカツとなる時があるんですが、そう言う時は肩甲骨を緩めると良いと言う訳で、皆さんチョット、肩甲骨を回してみてください。私は十分間、講演をやっても笑いが取れない

いと嫌になつてきて辛くなる。辛くなつたらもっとギャングを沢山言う。いよいよ笑いが取れなくなつて冷えていってしまう。滑つてしまうのです。静岡県庁主催の市長、村長を集める会があつて、講演の時、なに話しても受けない状況で、これは指圧で言うようなどんなに圧しても奥に響かない。だからまずは身体をさすつて柔らかくしておいて入れるつて言う、そうゆうのに当たるのが肩甲骨を緩める感じ。そうしますと息が楽に出来まして、勿論『みぞおち』を緩めるやり方もあつて、野口整体と言うのがあります、それは両手の指をみぞおちに当てて入れる。その会場に行つて、私もやりましたが千人くらいの全員が同時に息を吸つて、ハァーと吐きながらやります。この風景たるや、これはすさまじいですよ。邪気蔓延する。邪気を吐き出すのですから周囲に蔓延する訳です。肩甲骨が固いと心も固くなると言う、私の飛躍した理論ですが、そうなんです。胸と腹を隔てている横隔膜を緩めると自由な発想が出来るので

はないかと思うのです。そう言う、マア、身体の丹田呼吸法と言うのは、皆様はご存知ですが、今の二十代の人は殆ど知りません。で、臍下丹田と言うのは、お臍の下の奥：指三本下：その呼吸法ですが長く息を吐くと言うのが基本と言う風にされています。なんで丹田呼吸法が途絶えてしまったのかと言うと十年修業しないと身に着かない。だから呼吸法を教えるはいけないと言う訳ですね。一子相伝ではないですけど、きちんと残つて行くのですが、広く伝わらない。これを九九の様に簡単に教られないかと思つた訳ですね。で、鼻から三秒吸つて、二秒止めて、口から十五秒吐くと言う呼吸法です。では、皆さんやつて見ましよう。これをやりますと、脳の攻撃性をメルトニン神経性を和らげるのです。ですから、おだやかになるのです。リズムカルな運動をしながら話す。「能」は歩きながらセリフを言う。覚え易い。これによつて「声に出して読みたい日本語」の企画だったんです。本の題名は最初「暗誦するテキスト」だったんですが、これ

だと一万部しか売れなかったでしょうね。暗誦すると言う事は非常に気が重いのですね。声に出すのは自然に出来るので、その題名にしました。

歴史教科書が問題があると云うのですが国語教科書の方が実は問題があるのですね。国語は全教科に影響するからです。名文が少なく、説明文が多い。心の底に響く言葉、名文が取り揃っていないのです。子供にとつて難しい言葉があつたら外してしまふと言うのは、更にレベルを下げる事になつてしまふ。三色ボールペンの事を言ひましよう。

これを付録にして売ると云う企画だつたんです。主旨は、緑は面白い、青はマア面白い、赤は客観的で最重要ですと言ふ処に色を付けるんです。子供でも、夏目漱石の本でも、主観的な把握、客観的な把握をスイッチすると言ふ練習ができるのです。私が他人の話をして聞いているこの人は、こつから赤が少なく、緑が多く、結局赤も緑も無かつたよと言ふ事がありますね。官僚の答弁では無いのですから、赤とか緑とかを入れてはいけな

ルールとかがあるんでしょか。どこが大事だか解らないように書くのが「骨」なのでしょう。ここが大事で赤が入つていて、ここが大事で緑が入つていて、そう言うメリハリが大事なのですがね。「徹子」は上手いですね。要約が。武道、スポーツの技は何回くらいで技と言へるか？ エッ何回ですか？ 「およそ三万回」ハイそうです。自転車に乗れるには、九十九回転んでも、神様が後一回やれば乗れるよと言へば、一生乗れるのに。これがコーチの役目ですね。小出コーチの方法は説得力なんです。

静岡県人は言われると、なすがままと云う処がありますね。あるでしょう。あるでしょう。私も有りまして講演を断られ無くて、前の人、前の人、前の断われなくて、次の人、次の人へ謝つて廻る。和泉元弥のダブルブッキングじゃ無いんですけど、静岡県人のヌルヌルとした態度があつて、僕が断つたのに、相手が断わられたと思つてもいい。だから、すぐ講演予定のFAXが入つてくる。この人はいったい何を聞いていたのかねと。

静岡の人はビシツと言えない。ヌルヌルして居るのですね。いや、それは、何で……。女房は広島出身ですからビシツと言ふのです。だから僕のマネージャーをしているのですが。静岡方面の人には、人気が悪いですね。「声に出して読みたい日本語」が百万部売れた理由は、日本人の基本的な心情を表わして、静岡市が日本の中心なんです。文芸春秋に言われたのですが、誉めているのか、貶されているのか解らないですけど。静岡のヌルヌルパワーが日本を支えと行くパワーになると思います。山川さんの本を読ませていただき、感謝してます。そうそう、NHKに私の東大の後輩が入社試験を受けて入つたのですが、「能」をやつていたのがポイントに加算されて合格した。それは最近古典芸能を専門にやつていた人が退職したもので、だから、その補強だつたと言ふ事です。

「それって山川さんの事？」
「ハイそうです山川さんです」
「山川さんは静岡の先輩だよそれって」

第五五回江の島会

残暑がまだまだ残る平成十四年九月一日、恒例の第五五回江ノ島会が恵比寿屋で開催された。

出席者は岳南健児（女）ら四十二名であつた。

総会は黒田秀幸氏（67期）の開催挨拶で始まつた。

同窓会副会長荻野寛氏（71期）から平成十五年に創立二十五周年を迎える記念行事の具体的内容の説明があつた。記念式典は十五年十一月十五日、歴史資料館建設、記念誌発行、新応援歌制定等多彩な内容となつてなつており、同窓生の積極的な参加を願ひたいと話された。

続いて母校の状況について藤山昌弘（81期）から在校生のモンゴルへの海外研修や、遠山文部科学大臣が母校を訪れ、在校生に講演をされたこと、対外活動でも特筆するのは高校総体女子空手でベスト4と活躍したこと、その他、陸上、バスケット、野球と活躍の報告があつた。来年度から入学試験の方法が変わり、全県下から選抜できるようになることも報告された。

続いて雨宮明生氏（68期）

から事業報告・会計報告があり、江ノ島会会長に黒田秀幸氏、副会長に雨宮明生氏、幹事に浦田彰氏（71期）谷口諄次氏（72期）齊藤俊英氏（76期）菅弘彦氏（77期）の選出を全員一致で承認した。

その後初参加の方々より自己紹介があつた。

懇親会は校歌を四番まで高らかに歌い、塚本浩司氏（68期）の音頭で乾杯して始まつた。

今年の江の島会の出席者の特徴は、五十期代の出席が多く、世代交替を思わせた。

懇親会では、いつもながら同期生同氏や、世代を超えた懇談の輪があらこちらにみられ、静岡中学・高校に学んだ同窓生の結束の堅さを感じた。

特に出席者の中で唯一甲子園のマウンドで投げた、森山秀夫氏（66期）が、当時の状況と感激を話されたのが印象深かつた。

話の中に時間過ぎるのも忘れていたが、いつしか時刻となり恒例の二次会を橋のたもとの「いそみ」に移して、富士山と夕日の沈むのを見ながらの懇談が続いた。

そして来年の再会を各々が約して散会した。

（68期 雨宮明生）

作文 「江ノ島会」

(71期) 浦田彰記

僕のおじいちゃんは江ノ島会が大好きです。ことしも九月一日、朝からソワソワしてお母さんにズボンにアイロンをかけてもらったり、自分で靴をみがいたりしていました。僕が「きようは江ノ島会だね」といったら「そうだ！ことしはオマエもいっしょに行こう」といいました。僕は、あしたから学校だし、宿題も残っているし、だいたい江ノ島会なんて、おじいさんやおばあさんの会だし「イヤだよ。行かないよ」といいました。そしたら、おじいちゃんは「お小遣いをタンとやるから、いっしょに行こう」といったので僕は行くことにしました。

岡からきてくれた静岡の先生で野球部長の蔭山昌弘先生や同窓会の副会長の荻野覺さんのあいさつとか会計報告とかがあつて、みんなで校歌を歌いました。でも「義勇奉公四つの文字」とか「御国の柱礎」とか「稜威を四方に」とかぜんぜんわかりませんでした。みんなで記念撮影をしてから、エンカイになりました。僕のおじいちゃんはすぐ酔っぱらっちゃつて、陰山先生や荻野さんをつかまえて、ことしはダメだったけど、来年はぜったいに甲子園へ行けとか、百二十五周年では長谷通りから呉服町まで提灯行列でくりだそうとか、勝手なことをいっていました。そばにいたおじいさんもワルノリして、「そうだ！仮装行列もいいじゃないか！むかし静岡の仮装行列は静岡名物だったんだ！」

僕は僕で、あちこちのご馳走を食べあっていると、きれいなおばさんから「キミ、何年生？」とか「得意な科目は？」とか「夏休み何したの？」なんて聞かれてドキドキしました。「得意なのはサッカーで、ゴールキーパーです」なんていったら、「坊や、静岡はサッカーも強かったんだぞ。野球だけじゃないんだぞ」「テニスだって強かったんだ！」「柔道だって！」「陸上だって全国大会へ出たんだ！」と次から次とおじいさんたちが寄つてきました。僕は静岡って文武両道なんだと感心してしまいました。そのうちにおじいさんたちは、僕をソツチノケにして、オレたちのころは、アーだったとか、コーとかだったとか自慢話の花盛りになりました。僕はひとりのおじいさんに「あのきれいなおばさんは何という名前ですか」と聞きました。「マドンナという名前だよ。」

というわけで、僕はけっこうモテたし、おとなの仲間に入れてもらったし、マドンナさんとも話したし、お腹もいっぱいになったし、満足でした。

エンカイが終わつても、みんな「まだ陽も高いぞ」とかいつて、帰りがけに、橋の上のおでん屋さんでまた飲んだり食べたり……：だれかが「オーイ、来年は九月六日だぞー」といつていました。僕はマドンナさんに「また来年もいらっしやいね」といわれました。静岡の人たちはみんないい人たちでした。

僕は一所けん命勉強して、静岡に入學して、卒業して、「江ノ島会」に毎年来たいな、と思いました。

第二五会 印高会ゴルフ会

清水 雅尚

今回は「大石巖さん追悼ゴルフ」として大石先輩が愛した箱根CCで行いました。

前日の泊りを含め、大石さんを偲びながら先輩後輩、和気あいあいの内に一日をすごしました。スタート前、一組前にティーショットをする長嶋茂雄前巨人軍監督と金田正一元投手にお願いして記念撮影する事が出来ました。良い記念となり一同大喜びでした。

開催日 六月十七日(月)
参加者 十六名
優勝 村松 貴彦(77期)
二位 仁科 光司(77期)
三位 宮代 英佐子
(70期宮代氏夫人)

★ゴルフ会参加者を募っています。来年からは良いコースで安い料金を心がけますので一度参加してみてください。希望の方は会費納入書に記入か同窓会事務局までご連絡ください。ご案内を送ります。



長嶋茂雄さん(後列右から5人目)金田正一さん(同6人目)を囲んで

静岡の万葉を歩く

(二十五)

51期 原崎郁平

磐田郡竜洋町豊岡六六〇五
なぎのき会館前に歌碑が立っ
ている。

遠江 志留波(しるは)の
磯と 尔閉(にへ)の浦と
合ひてしあらば 言も通はむ
丈部川相(はつせべの
かわい)(巻二十・四三二四)

平成八年三月 竜洋町教育
員会建立 揮毫者 池田正鶴
(元町長)

寸法は高さ百七十七センチ、
幅二百四十七センチの自然石
に、縦六十七センチ、横九十
センチの黒御影石がはめ込ま
れている。

歌の大意は、遠江の白羽の
磯と贅の浦とが近くにあった
なら、言葉も通い話も弾むの
になあ。

歌碑が立っているところ
は、JR東海道線豊田町駅
(磐田駅と天竜川駅の間)か
ら南東へ約3kmの「なぎのき
会館」前である。この会館は
図書館、大ホール、会議室、
談話室などがある公民館とな
っている。碑裏には静岡県立

大学教授、高木桂蔵先生の撰
文が彫ってある。その一部
「万葉時代、竜洋は山名郡で
あり、ここ竜洋こそが白羽の
磯海岸だといえよう。ときあ
たかも今年は大化二年(六四
六)という東海道制定の年か
ら千三百五十年にあたり、こ
の歌の碑が竜洋町民の総意で
建立されるのも大いに意義深
いといえよう。竜洋町はじつ



に万葉ゆかりの街なのであ
る。」

この町は、以前は掛塚町と
して知られ、一九五五年(昭
和三十年)に掛塚町、袖浦村、

十束村が合併して新たに竜洋
町となった。人口は約2万人、
主な産業は工業と農業で、工
業団地での製品はピアノ、自
動車部品、金型などである。
農産物は、メロン、白ねぎ、
海老芋、中国野菜などがある。
海老芋は里芋の一種でこの町
の特産物となっている。この
町出身の有名人には、世界的
動物学者の丘浅次郎、静岡銀
行の創始者平野又十郎がい
る。来年の国体では自転車競
技の会場となっている。

竜洋町には昔から次のよう
な民話がある。掛塚の吹上と
いう所に「角八」という資産
家があり下男を使っていた
が、下男はお金のあることを
自慢していたので町中に嫌わ
れていた。ある日のこと、下
男の一人が倉の前に行つてみ
ると、大きな蛇がいたので、
追っ払ったがなかなか動こう
ともしない。しまいには不気
味になってきて、遂に刃物で
つたづたに切り殺してどこか
に埋めておいた。翌日下男が
その場所に行つてみると殺し
て埋めたはずの蛇がちゃんと
元のところに来ていてはな
いか。それを見た下男は気も

回想・随感など

静岡の風土

67期 鈴木敏行

遠くなるほど驚いたが、間も
なく高い熱が出て苦しみなが
ら死んでしまった。下男の死
後、その家の人達も同じよう
に高熱を患って死に、やがて
は皆死に絶えたそうである。
町の人はその蛇は倉の主では
ないかと言っている。

われわれの誇るべき郷土。

静岡県は、気候温暖、人間性
もおおらかで、住みやすいと
ころ。気候温暖の風土が、私
も含めてねばり強さという点
で、もの足りなさを感じる。

しかし静岡県はサッカーが
盛んで、全国レベルで高い評
価を受けているのは私には誇
りに思っている。

また不幸なことに地震地帯
のAランクにあるのも気がか
りだ。将来にかけて大きな災
害をもたらさなければと危惧
している。

ただ、地震地帯のAランク

ゆえに思い出すのは三宅島、
式根島、伊東沖の海底火山の
噴火であった。その延長線上
に富士山がある。

この山は三〇〇〜六〇〇年
周期で噴火している。三宅島
の一件があるから噴火する可
能性はあると思われる。

人間のカレンダーは一年、
太陽系のカレンダーは万年、
銀河系のカレンダーは億
年単位で回るから富士山は人
間の寿命の六〇〇倍。

自然の寿命は億年単位で数え
るべきだ。富士山は静岡、山
梨両県の県境にあり噴火すれ
ば山麓に近い都市は、火砕流
の恐れもある。

神様のテロはノアの箱船や
噴火など、場合によっては地
球そのものが、なくなる場合
もある。みな生きているので、
それぞれの寿命に比例してい
る。人間の一〇〇年も、自然
の億年も、カゲロウの一日も
みな同じと思えばよい。みな
生きている間だけが人生だ。

いづれは地球の温暖化で恐
竜のように消滅するかもしれ
ない。自然のカレンダーに合
わせて今を大切に生きるべき
だと思う。

行つて来ました
「いーはとーぶ」へ

77期 仁科光司

早朝6時4分、東京駅。やまびこ号で盛岡へ。

ゴルフではあるまいしこんな早朝に列車に乗るとは。

旅の幹事は我々77期の清水氏。「二泊三日、八幡平・十和田奥入瀬・八甲田そのうえ中尊寺、先輩のペンションに泊まりたつた5万円」彼から誘いがあり即座にOKした。

ITBや近ツリにも同じようなツアーがあるだろうが二連休中だからこれは安い。新幹線は半額。フルムーン割引だと思つたら早朝割引だつて。お仲間は静高先輩・同期・後輩の縦割りツアー。勿論初顔合わせの方もいる。人見知りなんかする暇もなく、先輩を立てながら後輩をいじめながら？旅がスタートした。総勢十三名が2台のRV車で盛岡から北上。

晴天無風、絶好な旅日和。2045メートルの岩手山がくつきりと目の前に浮かんで八幡平インターでの大渋滞で500メートル30分もまる

いーはとーぶの山荘で



気にならなかつた。

車内はおしゃべりに花が咲く。七十一期の故篠原氏の夫人がけなげにまくし立てる。

「私ね、どんな車でも運転するのよ。姫トラの篠原と言われて有名よ」車内シーン、直後感嘆の科白。続けて「ねえねえ、お鍋ひとつでおいしいビーフシチューがあつたという間にできるの」「すごい篠原さんさっそくレシビちようだいな、楽しみ」と夫妻で参加

同期の野方氏の夫人。残念ながらエキセントリックな旅にはなりそうもない。

71期米川先輩のペンション「いーはとーぶ」はやや古びてはいたが遙か八幡平の山々を北に南は岩手山の麓に続く高原の只中にある2階建ての洋館だつた。夫人と子息共々歓待してくれた。こんなところ（失礼）に先輩と家族がいるなんて。

朝一番のおかげでまだ午後1時半。紅葉最高の八幡平山頂へドライブ。山頂は車の長い列。運転は七十八期の垣生（ハブ）氏、公式カメラマンでもある。山頂まで徒歩20分。上り坂71期のマドンナ後藤さんを同期の浦田先輩がかばう。女子一期生の荒谷さんと杉山さんは元氣若さ一番で頂に立った。天下の絶景を堪能

し夕暮れせまる近くの後生掛温泉へ。東北ならではの木造湯屋で混浴を楽しむが湯と建て屋はよかつたが他の成果はなかつた。真つ暗な山道で87期高橋氏が一時行方不明になつたことが忘れられない。

米川先輩家族の心こもるフランス料理のあとは手回し蓄

音機でのミュージックサロン。荒谷さんは現役のダンス教師。同期の村松氏、野方氏等が手ほどき受け、サロンの床はドタンドタンとステツブ音が響いていた。71期梅原先輩の会社は私の妻が在職していた会社だつた。当時の模様

に花が咲いたことは言うまでもない。こうして一夜は暮れた。

明けても絶好の晴天。東北道に戻り十和田湖へ。そして奥入瀬へ、このすばらしさはどう書かなくてもいいだろう。溪流を一時間余散策。溪流ラーメン店では梅原先輩が行方不明に。事なきを得て八甲田へ。人数がもう少し多いと大変だつたかもしれない。そしてかの有名な酸ヶ湯（スカユ）温泉。成果は

昨日と同じだった。帰途は月夜だった。野方夫人が「ねえ、せっかくだからアカペラカラオケを始めましょう」よく歌詞を記憶しているな、ともかくも全員が歌いだした。こういうのは初めてだ。和む、癒される。期が違



いーい湯だな

つても歌心は同じだからだ。三日目も晴天。心がけが良すぎる。清水幹事に7時に起こされ、近くの松川温泉へ。地熱発電で有名だ。泊り客は朝食中、露天風呂は我々で貸切。ついに成果があつた。女湯での混浴シーンは同期の村松氏が撮影。カメラは私のだから著作権はいただく。松川の溪流は紅葉のさかり、白濁した硫黄泉と白い湯気、真つ青な朝空。米川先輩の気持ち

お世話になった「イーはとーぶ」を辞し南下して平泉へ。ここでもちよつとした事件が。村松氏が部屋に免許証を忘れた。米川氏はさすがプロ。電話を入れるともう心得ていてくれた。そのうえインター入口まで届けてくれた。ヤレヤレ。

2時間ほどで中尊寺。寺は見る限り普通で「成田山新勝寺のほうがいいや」とつぶやいたら浦田先輩に叱られた。金色堂は文句が言えなかつた。義経ゆかりのそばをいただき、毛越寺のわけの判らない庭を拜見してこの旅は終わった。

帰りの列車は後藤さん、篠原さんに挟んでもらった。話に花が咲くのは当然だがより気分が良かったのは私ではなかったのかもしれない。

幹事の清水氏は運転スピドが速いとクレームをつけられたものの全員に誉められた。こんな組み合わせでの旅皆さんも如何ですか。

ペンション「イーはとーぶ」
TEL 0195-78-2405
または同窓会事務局へ

西沢君を偲ぶ

43期 倉澤栄吉

西沢君はまだ生きています。四三会の世話人として生きています。関東同窓会の古参会員を代表として生きています。

世話好きの彼の性分が消えることはない。筆者の私は関東生まれで、静中では五年間を仰止寮で生活し、その後ずっと関東人である。ともすれば静岡から忘れ去られようとするのを、静中、静高へと引き戻してくれたのは、四三会の仲間達である。その中心に西沢君はいた。

関東同窓会に何回も引っ張り出してくれたのも西沢君からの電話である。四三会の五十周年は母校百年であった。百周年祝賀会には、甲子園優勝時のスター国友、田崎、小河君たちと並んで、はちまき姿の西沢君の姿がある。この顔には、小杉、見原などの世話好きの面々の生き生きとした「静」神がある。

筆者も今や卒寿を超えたが、まだ現役で、この十月には北海道へまた沖繩へと講演に出かけた。西沢君はまだ生

きているから、「そんなに元気なら関東同窓会にも江ノ島の会にも出ておいでよ」と電話をかけてよこすだろう。

私の健康法

67期 鈴木敏行

毎年、年賀状を書くたびに訃報のハガキがくるようになった。その分、枚数が年々減ってくるので、気になる。

考えてみれば、私も、もうじき七十歳になるのですから当然かもしれません。

初夢で、一、富士、二、鷹、三、なすびをみると幸運が来ると言われるが、熟年になると一は健康、二は金、三は名誉といった順序になるかと思えます。いづれにしても十人十色。

亡くなってしまえば、一巻の終わりです。

生きている間が人生です。私は有意義に人生を生きていくために毎日朝風呂に入浴、禁煙、酒は度をこさないように飲んでおります。それととにかく目標を持って生きていく事が大切です。辛い仕事も気楽にやり積極的に若い人達と

の交流を深めております。

また、地域のサークルに入りカラオケ、ダンス、詩吟、水泳、畠などをやってストレスの解消と足の衰えを防いで若さを保つよう心がけ地域社会との交流を深めております。

人生、欲をかかず、一日一日カレンダーに合わせて有意義に平凡に人生を送るよう心がけております。年に数回、旅行にも行き余暇を楽しんでおります。67期同窓の手塚、山岡、小杉(弘)、朝比奈、岡村、私を入れた六名で、スタートした有楽会は春と秋、年にはイベントも含めた飲み会も楽しみのひとつです。

追伸、有楽会はこじんまりした会で、人数も十八名程度ですが、ここ2-3年で二名の友達を失い、また体調を崩して出席できない方も出てきました。少し人数を増員しようとして声をかけたところ小杉(謙)、吉野、増田、三名の旧友が入会を希望されました。

もし入会希望の方は左記の電話にご連絡下さい。
小杉宅 0463-72-3125
岡村宅 03-3426-1575

同期会開催に補助金を支給致します

この関東同窓会を積極的に活動させ、親睦を深め、維持するために同期会を結成し開催をしていただきたい。

その主旨により役員会では次の様に補助致しますのでご利用下さい。

- 該当期は80期から新卒業期までの全期とします。
- 一人参加に付き、二千元を支給します。
- 期ごとで最高二十五名分で五万円までとします。
- 最低参加人数は十名です。
- 年一回だけ補助します。
- 適用期間は平成十五年一月から十二月までとします。

● 開催された月日と会場と、参加者名簿、幹事名(複数)を記載して報告して下さい。

問合せ、申込先は事務局まで。

野方法律事務所 野方重人
TEL 03-3251-2348
会員増強委員会 垣生尚敬

TEL 0468-66-2304

苦しい時の校歌頼み

68期 塚本浩司

静中へ入学して間もなく、音楽の授業があった。そこで校歌を教えられた。四番までである。楽器は勿論、楽譜もない。教具は黒板とチョークだけである。先生が板書した歌詞を我々が書き写す。一節づつ先生が歌い、そのあとをついて歌って覚える。音楽の授業としては他にアルファベットの歌を教わった。一九四六年、敗戦の翌年のことである。

以後、静中での音楽の授業は城内仮校舎へ移ってからの奥村ミサ先生に到るまで、記憶に無い。

我々68期生が入学した頃、静中は住友仮校舎に居た。一九四五年六月のB29による爆撃で長谷校舎の大部分を、一九四六年二月の漏電火災で住友仮校舎の一棟を失った静中は、教室不足のために学年によって午前と午後に分けての二部授業を行っていた。我々一年D組はC組と合わせて一〇〇名の合同教室に「収容」されていた。教室と言っても、数百人は入りそうな元

青年学校の講堂の一部分である。あとの方は倉庫代わりになっていて、長机や長椅子等が積み上げてある。左右の窓にはガラスがはまっているから風が吹くとノートがとばされたりする。前述の黒板も使い古して白板に近いし、傷だらけだから白チョークで書かれた字がよく読みとれない。筆記体で書かれるとaとd、bとhの区別がつかない。

当時の校長、間処先生はよく我々の低学力を嘆かれていた。が、あとに「昔の学校にはちゃんとした教室があり、家に帰れば机も電燈も参考書も有った。が、今の生徒達にはまともな家も無い。君達が気の毒で・・・」と続けられた。(爆撃被災者はその頃ようやく防空壕生活からぬけ出して、焼け跡のバラックに住んでいた。物資と電力不足のため、電燈は一軒一燈に制限されていた。)

こんな訳で、私にとつての校歌の思い出は、食料不足でいつも腹がへっていた。あのひどかった、苦しかった仮校舎での静中生活の思い出と重なっているのである。

やがて戦後の復興が成って

更に時は移り一九七三年。狂乱物価、中東戦争、オイルショックの波が我々の産業界にも襲いかかって来た。町ではトイレットペーパー騒ぎが起こっていた。

私は会社で商品企画の仕事に携わっていた。どの業界でもそうだろうが、新商品を世に出すに当たってその価格設定は最大の重要問題である。品質とコストのバランスを欠くわけにはいかない。ところが急な原油価格高騰で石油業界は販売価格を次々に大幅値上げして行く。過去に納品済みの油にまで溯って値上げ通告をしてくる事態となった。その時私が企画中の発売を極めて急がれていた商品の生産コストもこの影響を受けて週ごとに上って行くのである。このような状況の中では計画も販売施策も設定できない。私は困窮の中にあつた。夢の中にまで仕事が出てきて私を苦しめた。朝、目覚めた時には疲労困憊していた。

そこへ追い打ちがかかってきた。妻が癌にかかったのである。転移病巣を発見してから原発病巣を探しあてるまでに二ヶ月以上かかった。その

間にも又、どこかへ転移するかもしれない、という恐怖に襲われた。原発病巣はようやく見付かったが、それは五年後生存率約三〇％、多くは一年程で再発する、という厄介な病気だった。もう一つの悩みが加わった。小学生と学齢前の二児が居る。疲れて苦しかった。駅のホームや職場でめまいを感じた事もあつた。こんな時にふと口にするのが「岳南健児・・・」校歌であつた。あの苦しい静中時代、まだ少年だったのに、この校歌と共にのりこえて来たではないか。今だつて一と。

現在、体が不自由になった義父の生活介助の為に三年程前から津軽へ移り住み、言葉もよくわからない、先の見えにくい暮らしの中にある。寒くて暗い雪の季節を迎えた今、又、毎日の様に校歌を口ずさんでいる。のりこえる勇氣を得よう。

妻は身体障害者になってしまったけれど、あれから四半世紀以上頑張っている。春には、近くの弘前公園に見事な桜が開く。

二〇〇二年一月三日記

各期の会員の住所録をPCに登録・管理しておりますのでご利用下さい

各期の幹事又はそれに準じる方のご依頼があれば、その期の住所録をコピーしてFAX送信、又は、E-MAIL送信を致しますので、利用して下さい。

会員増強委員会 垣生 尚敬 (78期) TEL 0468-66-2304 (自宅)

E-MAIL yas1habu@poppy.ocn.ne.jp

広報委員会 山梨 由記 (73期) TEL 047-478-6906 (会社)

E-MAIL kingsmil@cba.att.ne.jp FAX 047-478-6907 (会社)

広報委員会 高橋 宏 (87期) TEL 03-3756-5851 (自宅)

E-MAIL hiroshi3.takahashi@toshiba.co.jp FAX 03-3756-5851 (自宅)

夢判断アラカルト

64・65 長谷川直和

皆様は今年どんな初夢を御覧になりましたか？そうです初夢のランキングは、一に富士、二、鷹、三、ナスビ、です。ところが小生十六歳迄静岡に居て、朝晩、富士山を見て居たのに夢の中で富士山を見たのはせいぜい四、五回と言った処、確率的には私よりも初夢として富士山を見ようと思えば、ざっと五千年も生き永らえなければなりません。しかしそこは良くしたもので、夢判断では何も富士山でなくても、お山に登ればすべて大吉につながると言う有難い「卦」が出て居ます。但し此には条件があつて手釣足掛かりの木の根岩角がくずれて崖の下迄落ちていったのは何にもなりません。大変でしょうが頂上迄登つて見て下さい。

二鷹ですが、今でこそ動物園やテレビが発達して居ますから鷹を知らない人は殆ど居ませんが、昔は鷹を見ようと思えば鷹匠の家に行くか、殿様の家来になつて鷹狩りに連れて行つてもうしかありません。しかし此も良くしたもので、鷹に限らず、鳥が飛んで居るのを見れば、幸運が舞

い込んで来るとか。しかし此の中で見てはいけない鳥が居ます。もうおわかりです。ね「鳥」です。もつともやむなく鳥に出会つたら仕方がありません、「此のガラスの腹は白いんだ」と念じて下さい。ツバメになるかも知れませぬ。

三、ナスビです。此は前回の様に代用品では駄目ですが何でもナスビを手にして下さい。どうせ夢の中です、手にしたらすぐボケツトの中にしまつて下さい、大吉があるのを待って居ます。

此の他一般を含めて良い夢が沢山あります。空を自由に飛び廻る。西の山に掛かるきれいな虹。美しい天女の舞うあで姿。すっかり晴れ渡つた空に満月が上る。昔藤吉郎を身ごもつた母上が、夢の中で、太陽と月を同時に自分のたもとの中に入れたところ、後に豊臣秀吉が全国を統一し関白太政大臣に迄出世をしたと言う有名なお話。皆様が良い夢を見たら、必ず三日間は誰にもしゃべらないで下さい。もし話してつうと其の幸運が話しをした人に移つてつうからです。

もち論、夢の中には良い事ばかりとは限りません。鏡が割れる、歯がかける、毛が抜

ける、生爪がはがれる、月にむら雲、満月に黒雲が覆いかぶさる、黒馬が家の中に飛び込む等々、もし皆様が悪い夢を見てつたら、他人に話す事なく自分の胸の奥に秘めて忘れて下さい。そして其の日の縁談、商談、会談等はすべて取り止めか又は延期して下さい。

ところで皆様が大凶？と思われる中に素晴らしい大吉もぐつて居る事があります。

其の一、自分の家が家事になつて了つた夢。但し、パケツでも消化器でも使つて完全に消し止めて下さい。丸焼けになつたのでは手の施し様がありません。

其の二、自分の家が台風や豪雨で大水が出て、川下に流されて了つた夢。

其の三、何と自分が御臨終？になる夢、此等はすべて自分の家や体の中に居る悪魔を根こそぎ死滅し追いつ事で大々吉との事。

最後になりましたが、ギリシャ神話に出てくる黄金の果樹園を守る蛇君のお話し。今では経済の守護神と尊敬される蛇君とは、静商を始め、全国の商業関連高校の殆どが校旗、バックル、記章等に此の蛇があしらわれて居ます。従つて蛇の夢（特に白蛇）を見

たら、其の殆どが経済的にプラスに一役買つて居るのださうです。夢の中でもし蛇君に出会つたら、逃げ出す前に頭の一つもなでてやつて下さい。目が覚めたら、きつと良い知らせが、あなたを待つて居るかも知れません。

人生わずか八十年、二十五年は寝て暮らす。素晴らしい良い夢を見て思わず「にっこり」するのも、人生長生きの「こつ」かも知れません。

平成14年の夏に

76期 鈴木 浩

旧聞に属しますが、今年の夏にある展示会に行つてきました。

私は、子供の頃、恐竜が大好きでした。いまだに恐竜の化石発見のニュース等関連の記事には、常に気持が引きつけられます。

そして今年の夏、大規模な恐竜博が開催されたのです。早くから前売り券を準備、心待ちにしておりました。実物は、期待に違わず素晴らしいものでした。世界各地より集められたそれは、圧倒的な存在感をもって会場を埋めつくし、さしもの大きな建物も彼等にとつては、手狭で窮屈さうに見えます。

同じ星に生まれ、現代の爬虫類とは別の、唯一鳥類のみがその後継者らしいという。進化の大きな流れから枝分かつた彼等の姿は殺し合いを続ける人類に警告を発しているようにも見えました。私の小さくて、そして巨大な夏の思い出となりました。

ふる里、静岡を思う

74期 藤原經史

今年も早、神無月（諸国の神々がみな出雲に集まつて神がいなくなる）。

曆もあと二枚で、壬午年も終わります。先日「ふじの国交流会」が東京で、石川嘉延知事を中心に開催され、私も参加させていただきました。同期生の山本肇君が、コーディネートで、座談会の中で、知事から「富国徳」をかかげ、「新生静岡県を造りあげたい」という強い思いが伝わって来ました。ふる里、静岡をあとにして、四十数年たった私にとつても大変うれしく又頼もしく思つた一人です。

わたしは、ひよんな事から東京の静岡県人会の世話役をお手伝いする事になり、やはり、ふる里があるということは大変うれしく、又なつかし

く、子供の頃の数多くの思い出が走馬灯の様に頭にうかびます。

東京におられる皆様にも、ぜひこの静岡県人会に参加して、旧交を温めませんか。

(静岡県人会、東京事務所、03-3265-3933、都道府県会館東京事務所内、年会費二千五百円)

私の誕生日、十月五日、奈良東大寺の開眼、千二百五十年祭で、大分県の宇佐八幡神社の神輿が、千二百五十年ぶりに、神輿が、お祝いで参加されました。良い思い出と思いい、そのお祭りに参加させていただきます。

大神社女が神宮として、転害門での神事、東大寺大仏参拜、最後に手向山八幡神社での神事を目的あたりにして、日本の歴史、伝統とその継統に胸をうたれます。

世の中閉塞状態ですが、日本人一人一人が誇りと自信をもって、国造り、人造りにお互い力を合わせないといけない時です。

「ふじの国交流会」での石川知事の提唱した「富国高德」、人造り、その基本は「挨拶」と「国語力」「読書力」そして「理科、数学」の重要性を訴えられたことが大変印象に残った次第です。関東・

静岡静高会も諸先輩のおかげで、年ごとに盛大になり、うれしかぎりです。私共、七四期会も、毎年七月四日に、静岡地元で、盛大にやらせていただいております。一二月には忘年会も、地元で予定しております。

来年(平成十五年)は癸未の年です。干支から見ますと癸とは、万事筋道を立てて物を考え、処理してゆく。それを謝ると混乱、或いはご破算にならぬとも限らない。

未は枝葉の繁茂を表す。思いついて枝葉を切つて明るくする。枝葉が繁茂するとくらくなり、風通しが悪くなる。結論的には、「万事筋道を立て、余分なものは思い切つて切りすてる事が必要かと思えます。」

64期 秋のゴルフ会

64期 佐野 旭

十月十日、一昨年までは体育の日」だったこの日、「ゴルフ虫に噛まれた患者」14名が、東京、静岡から伊豆大仁CCに集まり、第36回ゴルフ会を行いました。

流石は患者達、若いつもりで右に左にと白球を追い、途中ペテランキャディさんから、「お元気で歩いてラウンドなさるなんて、とてもお歳

には見えない」とオダテラれた挙げ句、終了時には「一日倒れずに回れた良かったですネ」と落とされる始末でしたが、青空のもと、スポーツの秋を満喫しました。

優勝は漆畑茂君、前半は昔を偲ばせる好調さで47、後半疲れたか57も叩いたが、ニアピン賞も2ケ獲得、長い不調からの脱出も間近で本会2度目の優勝をさらう。

「いつも楯を運んで来るだけで、持ち帰った事がない」とボヤク石原良昭君(実は25回大会で優勝してます)、毎日2時間のウォーキングを欠かさぬ精進の賜か、前半好調、後半に入って同伴競技者から「ボチボチ優勝の弁を考えておいたら…」の応援?とブレッツシャーに負けたか、最後2ホールで20も叩き2位に沈む。

最近静岡に転居した村上匡代二君、春の大会以降、引越して、芝刈り、耕運機などに苦戦中で、半年振りにクラブを握ったというのに「基礎が出来てりゃこんなもんだー」とばかりに、グロス97で3位入賞とニアピン賞。

その他のニアピンは、小沢義郎君(前回優勝とニアピン2)、鈴木高保君と佐野旭。ベスグロは、いつもこの賞にからむ伊東剛君の連続受

賞、193では若干不満だが今日のティ位置を考えれば納得」。栄えあるブービー賞は永田進一君。トシのせいとか、故障のせいとか、この処、絶不調続き、今回は賞品の表示を「優」の文字に変える様、捲土重来を期す。

岩本吉雄君、「64期ゴルフ会で、前後半共64で回った人に、64並びの何か無いの…」と本人申請に基づいて、64期特別賞受賞。

メーカー神谷武男君、前回(2位)のスコアから同スコアだったが、ハンデ差が明暗を分け「次回アタルンダ賞」のボール3ケ。

野沢正憲君、2週間前には復調の兆しが見え、勇んで乗り込んだが残念、村上君と同ネット乍ら4位に甘んずる。前回3位の山本和彦君、不調でも手堅く纏めて5位。

いつもご指導、ご協力をお願いしている、61期の両先輩、清水昭彦兄、今一つ調子に乗れない日でしたが、それでも2桁スコアに収めたのは正にベテランの味、当日賞獲得、「俺の方が若いのに、一つもオーバードライブ出来なかった」と、同伴競技者の弁。

大石次男兄、過去3回優勝実績がありますが、このころ、一打差、同ネットでもハンデ差などで、トビ賞や当日賞を逃がす不連続さで今回も無冠の8位に留まってしまいました。

以上が「ゴルフ虫噛まれ患者」14名の症状でした。そして、「スコアよりもゴルフを楽しむ」など負け惜しみを言いつつ、も、好天の下、英気を養った一日を顧み乍ら伊豆を後にしました。

静岡地区では毎月、コンペ実施中とのこと、当地区でも毎月実施を計画中です。「ホントにゴルフを楽しむことの出来る人」に近づきたいものです。その節はヨロシク。

当会で優勝、準優勝各1回の実力者、浅井幹夫君が病いの為、9月16日他界されました。ご冥福をお祈りします。当会から野沢君が盛花を永田君が弔問をして下さいました。



73期ゴルフ会で 超ドラコンが出現

73期 有光 一朗

十四年十月十八日 太平洋クラブ御殿場ウエストコースに静岡と関東から同期生26名の岳南健児が集合。夜来の雨も上がり絶好のゴルフ日和。幹事の挨拶、記念撮影の後スタート。そしてまもなく珍事が起きた。1番ホール、498ヤードのロングホール。テイングランドでは2組目の大河内久君、佐々木勝彦君、望月多嘉男君が軽く素振りなどをしながら、はやる気持ちを抑えつつ順番を待っていた。キヤデイさんの「お待ちせしめました。それでは参りましょう！」の声が聞こえた。オナリの大河内君、テニスで鍛えたスレンダークなボディには外から想像もつかない強靱(狂人ではない、念のため)な身体能力が秘められていた。スムーズなバックスイングから得意のドライバースョットを一閃。「キーン」となんととも言えない快音に続いて「ナイシヨット」の聲が上がった。

その声に送られる様にボールはフェアウェイのやや右サイドに向かってグングン延びて行った。強烈なラインドライブは次の瞬間、カート道路に当たって大きく跳ねた。跳ね上がったボールはさらに前方に向かって加速して行った。そして何と先行組のカー

ど飛んでいきました。アマチュアゴルフアールとしては希なる飛び。

最近のゴルフの世界は、目覚ましい技術革新により飛ぶクラブ、飛ぶボールが市場に現れ、とめど無く進化して行くゴルフ用品に加えて、コース

トの屋根に命中。「ヤーねー」と言ったかどうか聞き漏らしたが物理学の法則に従いボールは更にもう一伸び前方にぶつ飛ん行きました。びっくり仰天したのは先行組。カートに乗って1番グリーンに向かっていた四人でした。いきなり天井で「ガーン」と来たからたまらない。一瞬、雷が落ちたかと身を縮めた。「イヤー」とにかく大事に至らなくて良かったですよ……ほんと!」結局1番ロングホールでの大河内君の第2打はピンまで残り150ヤード。やや打ち上げのセカンドショットを5番アイアンで軽やかに2オン。2パットのバーデいで幸先良いスタートをきった訳です。それにしても第1打の推定飛距離は348ヤード。タイガーウッズも真つ青かと思うほ



の端を長く延びていくカート道路、更にその上を走る乗用カートの屋根までも総て総動員し、ぶつ飛ばして行くこの精神。立派であります。まさに岳南健児の鑑であります。幹事としては迷う事無くスーパードラコン賞を設けて特別

表彰したのは言うまでもありません。このスーパーショットに話題をさらわれましたが、本来のドラコン賞は9番ホールでサッカーク部のエースストライカー山口正義君が、15番ホールで野球部名ショットで鳴らした鈴木久弥君が自力のみで見事なロングショットをフェアウェイに飛ばして獲得。さすがでした。両君の名誉のためここに記します。

優勝 鈴木 和彦君
準優勝 山中 博司君
三位 有光 一朗君
B B 石川 博美君
B G 石田 行雄君

この他の参加者は、静岡から青木正隆、高須博章、内藤隆、成岡光治、西田洋輔、松永泰昌。関東から赤木政夫、石割浩二、三枝通康、杉山光、鈴木斎、中川明久、中野淳夫、羽山武、松永文夫、和田武朗の諸君でした。それにしても73期生諸君の深刺として元気な事よ。とても70歳には見えません。(当たり前です、まだ60歳代の半ばは皆洩垂れ小僧です)元気な同期生に会えるのは誠に良いものです。関東地区では十五年の春にも

う一つのコンペを立ち上げようという提案があります。洩垂れ小僧達の球遊び……きつと成功する事でしょう。では来年を楽しみに、報告を終わります。

『来春刊行予定、 七七期還暦記念号』

後藤 嘉代

還暦記念号の編集会議を開くので、浅草橋に六時集合との連絡が回ってきた。この十月の末である。たぶん最終会議になるといふ。

準備編集会議と称して、初回がもたれたのは、松井会計事務所だった。還暦に私などはまだ三年余を残していたので、そんなにせっかちに六〇歳なんて言葉聞きたくないよ、と言った記憶がある。

いまだ準備しなくちゃ間に合わないという村松貴彦氏の熱意に、しぶしぶ開かれた会議だったような気がする。

この時点で、編集長は村松氏に決まり、即座に松井義之氏が試算して参加費は二万円、会計係長は松井氏に決まった。

それから準備会議は何回か開かれたけれど、半分は飲みしゃべるのが楽しみで集まるから、手早く議題をあげても、あちこちに話が拡散して「それで、どうする？」と思いついて聞くと、少しの間、議題に戻るが、誰かが「本を出すより、記念海外旅行に行こう」とい出す。そのほうがいい、どこに行こうと、もりあがり脱線してしまふ。ときには議題は飛びつばなしで戻らないまま、酔っ払って帰宅してしまうこともあった。どうなったの？とほかのメンバーに尋ねると、判らないけど村松が判つてると思うと、はなはだ無責任な答えが返ってくる。

一年を経て、卒業後四十周年記念行事に、石山建一氏の紹介の伊東温泉で同期会を開き、大枠をまとめて説明し、全員の賛同を得て、正式に編集委員会が発足した。メンバーはとも参加費を早く払った人が選ばれたらしい。

編集会議は楽しく、だらしなかつたが、しかし、続々と集まる原稿はそれぞれの人生を映してなかなか読み心えがある。乞うご期待である。

村田吉隆代議士パーティーに同期生十名が応援・参加

79期 上田尚亮

十月三十日、ホテルニューオータニで静岡79期の村田吉隆衆議院議員の「政治パーティー」が開かれました。同期の仲間が静岡から岩下収、大石真三、志田洪顕、安田清、大阪からは小林泰之、東京は大石恵則、野崎喜吉、松本千秋、森一麻の各氏と上田。関東支部からは山梨由記(73期)先輩が出席していただきました。村田氏は城内中学出身で東京外大、京大、大蔵省を経て、岡山5区から4回当選しています。自民党堀内派で柳沢金融相のもと副大臣をつとめ、今国会では経済産業常任委員長に就任しました。

会場には、各局テレビカメラが配列しました。これは柳沢前金融相の祝辞があり、小泉内閣批判が出るかもしれないとの読みがあつたからだそうです。でもそこはさすが。柳沢代議士は紳士でした。小泉批判はしませんでした。

柳沢先輩もウエルカムで私たちは一緒に写真を撮つたりして大騒ぎでした。会のお開きの後、別室で1時間半程度、

村田氏を囲んで歓談しました。鈴木宗男議員を怒鳴つた事、他のいろいろな武勇伝を数多く聞き、楽しく、散会になりました。忙しくお疲れの時に時間をとつてくれてありがとうございます。

江川豪雄(79期)氏はアメリカ三菱重工社長になり、ニューヨークに就任しました。スケジュールを調整してくれたので、この三月に会いに行つてきました。大統領の弟のブッシュ・フロリダ知事や、GEのジャック・ウエルチに会つたり、アメリカ中を飛び回つているとの事。人事部長が30歳で女性でユダヤ人である事。アメリカの人事制度の話など興味深かつた。9月11日のテロの話、総領事の更迭の話、グランド・ゼロへ車を



回してくれたたり、食事の招待、至れり尽くせりでした。20年ぶりに会つたのに話が弾んで奥様は驚いていました。

グローバルの時代でも静岡・静岡同窓会の存在理由はあるのかなと思ひました。

同期会など

五六期会

清水 逸郎

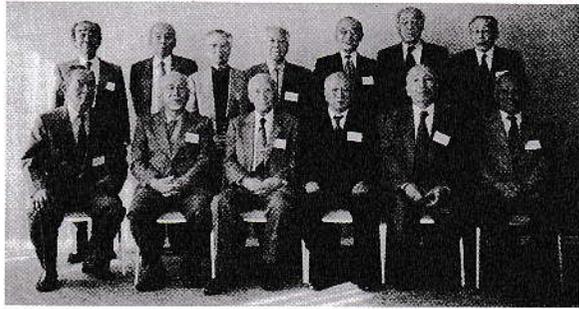
平成十四年の関東地区同期会は十月二十二日(火)午後一時から三時間、公務員共済の「ホテル東京」で開かれた。

出席者は、青木良文、石塚由雄、大野日佐太、奥野進、川崎博、北村甫、小菅正紀、清水逸郎、竹佐太一、鶴岡英彦、荻原達雄、牧大勝三、山口弘、横森桂の十四名。現在関東地区の会員は三十三名であるが、来年は満八十才を迎えようとしているときに、これだけあつまる事ができたのはまことに有難いことであつた。

懇談は、荻原君の挨拶と彼の音頭による乾杯で始まつた。今回は、久しく連絡のとれなかつた小菅君の初参加ということで、自ら彼を中心にした

話し合いになつた。お互いによくわかるようにということ、小菅君に続いて、各人が自己紹介をすることにした。それぞれの個性的な話が続き、その途中でいろいろな質問が入ることもあつて、和気あいあいのうちに話が弾み、とうとう全員の自己紹介が終わらないのに時間がきてしまつた。

記念写真を撮り、来年も同じ会場で同じ十月の火曜日の二十一日に再会を約して散会した。



久々の楽しい

語り合いの一時
61期 清水澄夫

漸く秋の気配を感じ始めた10月11日、隔年行われる関東地区61期同期会が地区期友16名と静岡より遠路上京された来春の幹事田村・北村両君の参加を得て、銀座キャピタルホテルに集い、常任幹事 大石次男君の司会進行により二年ぶりの会を行いました。

冒頭 今は亡き期友の冥福を祈り黙祷を捧げ、本年幹事奥野泰三君の挨拶に続き、特別参加の田村郁雄君より静岡での同期会の近況報告と来春の同期会及び125周年を迎える静岡・静岡同窓会への参加要請などあり、坪田昭三君の乾杯音頭にて宴に入り旧交を温めました。

第二次大戦中の4年間を静岡中生徒として、学業半分・勤労奉仕半分の戦時下の体験は、今この平和な時代には考えられない自由の無い束縛されたものでしたが、そんな世相の中に在ったことが、別して仲間の連帯感を生み、卒業後、夫々の道を歩み、異なっ



静岡中61期関東地区同期会 平成14年10月11日
銀座キャピタルホテル

た環境に在っても今尚、俺お前であり、あだ名で呼び合、少年期にタイムスリップ出来るこの同期会に快哉を叫びたいと思います。

その一方に於いて、終戦時、4年で繰上げ卒業して57年を経て、齢も4分の3世紀を重ねた現在、殆どがサンデー毎日の年金生活者、年相応の老いの身(?) ゆえに、少・青年期の想い出は鮮烈で懐かしくはありますが、同時に現実を振り返れば年相応に話題は健康についてやら、その他、直面する悲喜交々の問題で感

概も一入です。特に期友の訃報に接する悲しみは、現実として受止め難い思いですが、昨年は、此れまで静岡に於ける同期会を当初から纏めて来た加藤光成君を始め数名の期友との別れ、そして関東地区に於いても、一昨年から今年にかけ6名の期友と幽明界を異にする事と為りました。只々冥福を祈るばかりです。宴半ばにして、次回(平成16年)幹事を安藤 厚・芹沢博樹・坪田昭三の三君を指名、三君此れを快諾(?)され、さいごに君島敏夫君の音頭で校歌斉唱を以って終宴し、来春、静岡の同期会での再会を交々約し、帰路につきました。

六十四期

64・65期 野澤 正憲

平成十四年七月六日(土) 晴 田町駅前酒庵道灌かがり、にて同期会を開催す。出席者一九名、世話人の努力もむなしく、少し淋しい感あり。原因は病氣治療と、旅行。その淋しさを吹き飛ばしてくれたのは、故森下啓造君の奥様

だった。栗田行雄君の誘いで、生前主人がとでもユニークな集まりだと話していた。お世話になった皆様に一度会ってお礼を述べたいということでお席して下さった。女性が入ると、とても座が明るくなった様な気がした。十七時、佐野旭君の司会で始まり、乾杯の音頭は、長島健君。静岡の石原良昭君より差し入れてくれた、鯛のはんべんと玉葱のフライにアルコールがテーブルに並ぶと皆五五年前の青年に戻って、在りし日の森下君との交友の一端と、現在の心境を語り出して座は一層盛り上がった。特筆することは沢山あったが特に印象深い話を列記する。柳田堯君、鎌倉の山の上に住んで居たが、老朽化したのを時期に山の下に新居を構えた。高齢者には毎日の山登りは「シンドイ」。

引越は大変で身体にこたえる。村上彦代)三君念願叶って会社を息子に譲り奥様と静岡市沓谷に引退した。毎日農業に励んでいる。渡辺宏一君も静岡常盤町に移転。下北沢の小笹寿司の主人が淋しがっていた。塚本光彦君一九九一年

に退職早や十一年目。隠居生活にもあきてきたし、貯金も減ってきた。故川口実君の霊前に香草を捧げた時、西富士ゴルフ場で桜の咲いたときのプレーはとても楽しかった、と奥様に話され、諸兄に呉々も宜敷く感謝された。永田進一君、退社時に、毎日歩くこと、本を読むこと、パソコンを操作すること、残念乍ら五十冊目標はは十四冊、Eメールを送る相手も居ない毎日、一同爆笑す。望月担君、前回で述べたが「ライオンは夜眠れない」の本が現実味をおびて来た。諸君も注意せら



れたし。長谷川真和君「夢の話」は大変面白かったので別稿で述べていただく。

その他出席者、桜井富士男、仲野実、益頭尚文、山本和彦、松島玲子、森下佳代子。楽しい時はまたたく間に過ぎ、岩本古雄世話人の又、来春の再会を約してとの言葉で閉会した。岳南健児の斉唱は勿論である。

追伸、名波倉四郎が逝去されて早や一年、何となく淋しく感じるのは小生だけなのか、九月十六日いつも元気な顔を見せてくれていた浅井幹夫君（陸上競技部）が前立腺癌で逝去されました。謹んで御冥福をお祈り申し上げます。謹んで。猶六四期在京生一回で御霊前に生花を贈りました。栗田行雄君、本年も二科展入選誠にお目出度う。増田政雄君が、那須塩原より多摩市に帰京しました。ブラジルに移住した近藤博之君より、日本に住んでいるお孫さんが高専ロボット大会に出場し、見事入賞したと、喜ばしい便りがあった。来年が又生きていて良かったという年でありたいと念願する。

静高七八期

関東同期会報告

78期 小長井 孝

10月5日、78期で関東地区在住の40名（含む静岡の5氏、ほぼ5人に1人）が有楽町電気ビル北館プレスクラブに集まり、1998年から続く4回目の関東同期会を開いた。今年卒業40年の節目の年であり、今までより「当時を思い出せる」会合を企画した。目玉としてCD-ROM「学窓を離れて40年」を自主制作することにした。全国に点在する同期生からのメッセージや在学当時の写真、卒業時と現在の母校の写真、今までの関東同期会の活動記録、同期生の活躍等々、それぞれの思いを随所に盛り込んだものとする事で決まった。準備にあたり、パソコンやインターネットに詳しい「電脳幹事」の川崎敏弘君の計らいで、まず78期ホームページを開設した。そこには皆さんから出欠回答のハガキに寄せられた近況報告メッセージはなんと80余人から一を載せ、度々開いた幹事会の開催

日時や議題の確認と結果の報告等だけでなく、提供された高校時代の白黒写真のページも作り、CD作成の進み具合を周知する等々により、会合への期待感の盛り上げに大いに活用した。当日は静岡から学年幹事の海野氏を始め、田中・川口・加藤・花森の四氏もかけつけてくれた。冒頭、一足早く永久の旅立ちをされた15人の仲間達に想いを馳せながら1分間の黙祷を行い、スタートした。記念CD-



ROMをパソコン経由で大型スクリーンに映し、その映像を核としながら当時の写真と今の本人が並ぶという中で、大いに飲み、食し、歌い、語り合った。一次会を午後一時から、二次会を同三時からとし、いずれも同じ会場で続けた上に、半数以上が三次会まで残り、夜の更けるのも忘れるほどに会話が弾んだ。次回幹事を決め、おみやげにCD-ROMを抱え名残惜しくも来年の再会を約して散会した。なお、海野氏により要請された「母校125周年記念募金は参加者全員が拠出した。今回、柴田よう子さんの計らいで便利で快適な会場を確保していただいた。またCDジャケットの絵に幹事の久山一枝さんの作品を借用させていただき、松下圭佑君の協力で原画に忠実なカラー印刷ができた。ベテラン幹事の垣生尚敏君、幹事長の齋藤登記明君、幹事の立石正之君・友安昭君の惜しみない協力と、参加者のもとよりやむを得ず欠席された多くの同期生の熱意が会の成功をもたらした。皆様には深く感謝申し上げます。

訃報

西澤純三氏（43期）は本年六月にご逝去されました。

享年九十二歳でした。西澤さんは旅順工科大学卒業後、東芝に入社し、戦前戦中戦後と長く活躍され、特にIBM機器等コンピューター関連に深く関わって来ました。同窓会関係でも幹事として長年ご協力をいただきました。江ノ島会には、毎年自宅から誰の手も借りずに参加され、乾杯の挨拶をし、誰とも明るく話をされていました。

印高会ゴルフでは、九十一歳まで参加され、いつも明るい性格は後輩たちの目標となっていました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。



PC**PC**PC* パソコン奮戦記 その3 *PC**PC**PC

★東京駅で、買った新聞を読み缶コーヒーを飲んでいたら新幹線“のぞみ”がいつの間にか静かに走り出していて、このまま静岡を通過し、京都・大阪に。苦労もなく便利で快適である。昔、デコイチ(D-51)蒸気機関車は黒い煙を吐きながらガタン、ゴトンと車両を前、後ろに当てながら引っ張り、段々と前に進んでゆく。おお、やっと静岡駅を発車だぞ。

全く、私のパソコンは、このデコイチの動作にそっくりだ。何も郷愁を味わっていたいのは無い。何だろうか。その内、エラーメッセージが出てきて、「メモリーが不足しています」。遊びにもならない。仕事にもならない。「ヨミウリPC」月刊誌も40数冊貯まったので、以前、付箋を付けて置いた筈だからとページの上部に付けた付箋を撫でながら“メモリー”の文字を探す。ホームページ(HP)を作り過ぎて、8本位になる。段々欲が出てきて、画像も大きく、枚数も多く、1本のHPで60枚の写真を使ったものもある。メモリーとは丁度机の面の大きさに喩えられ、ここにソフトを開いて演算操作をするので、机の広さが足りないと言う事だそう。容量の大きな新品を買えば良いのだが、愛着がある。否、お金が無い。そう、それならメモリーの増設をしよう。

秋葉原に行って増設用のメモリーを買ってきて、四角の機械の箱を開けて、所定の棚に“ピシッ”と音がするまで、押し押し込めないではないか。マニュアル通りやりや、やれる筈。両手の親指でやっと押し込み四角のカバーを取り付けて、試運転。ソフトを起動させるとスイスイ動く。儲かったぜ。まだ行ける。その内に、“ハードメモリーが足りません”と親切にも教えてくれる。今度は、新しいソフトを買ってきては、ドンドン、インストール(登録)するので、机の引き出しの中が、満杯になる。ソフト類は机の引き出しに入っていると喩えられる。内部に増設は出来ないと、パソコンショップの店員が言う。もうお客さんのPCは古いのですとは言わなかったが、“外付けハードメモリー”を購入して接続すれば良いと言う。これでスイスイかァー。ちょっと解らないので、この部品のメーカーのフリーダイヤルに電話して、電話指導を受けながら作業をする。旧式タイプは、また箱を開けて内部のスカーポートを取り付ける。今は総て内蔵されているそう。6センチ程度の細長い部品の左側にだけネジ穴があり、これを止める。箱を開けて、試運転すれども動かない。もう一度箱を開けて、ネジを締め直して下さいと言う。PCの後ろ側の配線を総て抜き、箱を開ける。両側にネジ穴があれば、左右均等に絞められるのに、PC本体メーカーはネジをケチして、1個だけにしてある。この不確かな作業を3回繰り返して、箱を閉め、配線を繋いで、サァーどうだ。作動しましたね。この間、石川県のアイオーデータと言うメーカーは約1時間も電話で指導してくれた。7000円の部品のために。申し訳無い。何千人の中の一人のために。きっと御社は、評判が良いよ。感謝感謝です。

金属片の左右にネジ穴を作ればしっかりと固定出来るのに何故しないのか。もつとも、私の様な古い機械を修理しようとするのが例外に近いのでしょうか。貧乏人だから。

もし千人に1人くらいが修理をする確率ならば、ネジは1個でネジ穴2つで済む。ネジを2つにすれば、穴も4つ開けなければならない。1人のお客を満足させても、他の999個のネジと1998の穴が節約出来るのがPCメーカーの計算かもね。ウン、私も経営者だ、そう考える。

楽をすれば、知識は増えぬ。苦勞させられる度に、またまた、私は強くなる。山梨由記(73期)

★★★★★★ 静中・静岡関東同窓会 ホームページ便り ★★★★★★★

このホームページを作成してもう2年たちました。ご利用有り難うございます。尚、100期の岡田幸久さんから新しい提案がありましたので、お知らせします。

ホームページアドレスが長いと読みにくい、間違い易いので現在使用している同窓会のアドレスを次のアドレスからリンク・転送が出来る様にしました。

静中・静岡同窓会 <http://shizuko.cc> (静岡はココ と読みます)

静中・静岡関東同窓会 <http://kanto.shizuko.cc> (関東静岡はココ)

同 関東同窓会メールアドレス kanto@shizuko.cc (広報担当 石川宛て)

岡田さんの提案に感謝し、皆様のご利用をお願いします。 石川嘉和(87期)

An E-mail from New York

ニューヨーク・被災ホームレスの生活の記

川井 和子 (89期)

アメリカに引越してから、そろそろ18年になります。私の意志に関係無く発生して大迷惑だったのは例の9月11日の世界貿易センター事件です。日本に滞在中だったため、2機目の突撃から10時のNHKニュースで見る羽目になりました。世界貿易センターの隣に住んでいる私は火曜日の日課から考えてニューヨークにいたらあのビルの最上階で死んでいた可能性が大きかったです。さて、日本からケネディー空港に降り着いた私は、即、ホームレスです。

実は神戸の地震の時の様に学校の体育館でしばらく生活する覚悟はできていました。確かに9月11日、着のみ着のまま警察の船や無数の商用船舶に助けられて対岸のニュージャージーに避難した私の隣人達は高校の体育館で一夜を過しました。でも翌日からは友人・親戚の所に取り敢えず身を寄せ、日が経つにつれマンハッタンでホテル住まいを始めたようです。(ウォールストリートに貧乏人は居ないのでホテル住まいが当然と思った見たいです。)

私が帰った当時、ニューヨーク地区のホテルは足止めの観光客、全国から来ている救援の消防士、被災企業の応援の職員、私のような被災住民、等々で混乱の極みで電話も繋がらない状態でした。翌朝、The Hudson Hotelに飛び込みでチェックインしました。しかし、その内、今後の見通しが全然立たない事がわかり、10月中は日本に帰ってニューヨークの仕事を続けていました。(私は訴訟関係の翻訳をしています)。数年来続いていた某訴訟事件の終結部分だったのですが、それもとうとう終わり私は様子を見るために11月初めにニューヨークに帰りました。そして、今度はホテルを3つ転々としました。12月中旬には、チェルシー地区にある家具付きのアパートメントに移りました。(もう1年になりますが居心地がいいので、まだここに居ます。)その間、11月からは、保険金の請求だの、連邦、州、市への被災の登録だの毎日駆け廻っていました。各種の書類の記入がとに角大変でした。州と市からは被災地周辺の中小企業への休業補償と言う事で前年度の売上げの25日分が振り込まれました。

私はすぐ隣に住んでいたので最大日数分。この程度の保証では、大損です。ホテル代は州や連邦政府から払い戻しがあつたけれど災害保険に入っていると、反って全額もらえないので、かなり不公平だとは思いました。(そう言えば私は1万5千ドルの家財保険の保険金の支払いを日本の保険会社からまだ受けていません。再請求しましょう。)赤十字など、あんなに沢山の寄付金が集まったのに本当の被災者にはあまり廻って来なくて私達の間の評判は最悪でした。それに反して、州、市は共同でSafe Horizonという家庭暴力の被災者を援助する非営利団体(!)を急遽今回の被害者の援助団体に作り変えて支援センターの最前線として活用しました。日本では絶対に起こらないような、トップダウンの即決ですが、ここからの経済的な援助は一番わかりやすく、概ね好評でした。私の被災ホームレス生活も数ヶ月経ち、春先からはウォールストリートからチェルシーへの環境の変化にも慣れ、ようやく生活も安定して来ました。そう言えば私達、良く泣きました。アメリカ人が人前で涙を出してしまうなんて、普通では考えられないのですが、9月からの体験を話していると涙が出てきてしまうんですね。

私も9月12日から3月初めまで、本当に良く涙が出ました。3月に涙にさようなら出来たのは友人の御陰です。ジャミール、本当に有り難う。!!

夏には、すっかり昔の生活に戻りました。仕事の方も忙しくなってきました。ワールドカップ・サッカー、リンカーン・センターでのキーロフのバレエ公演、セントラルパークのピクニック・コンサート。ロンドンのパーティー。そして楽しい夏は終わりました。

オトマン、エンリケ、シーマ、ニルマラ、ピーター、シェリー、有り難う!

秋からは、ラテン・ダンスと北アフリカのダンスに熱中しています。アントニオ、カマール、有り難う! ルイス・エンリケやクリスティアン(皆さんこんな歌手知らないでしょうね)

ハレッドやハキーム(こんなのもっと知らないでしょうね)の世界です。イーストビレッジのクラブで「アイシャ」や「ハビビ」を口ずさみながら踊っていると隣にいるアラブの男の子たちは、まさかアル・カイダのセルじゃないかと、ふと心配になったりするの事実ですが。

来年早々には、ウォールストリートの元のアパートメントに戻る予定です。改装工事をして、新しい家具を買って新しい生活を始めます。窓から見えるハドソン川とマリーナ、そして夕焼け。春には昔からの隣人、新しい隣人との毎日が始まる。こんな事を考えていると、思わず楽しくなります。

ひとりひとりの
ご協力を

○ 総会や同期会などの会合には億劫がらずに出席し、楽しい一時を持ちましょう。

○ 年会費の拠出者が年を追って減少し、さびしい事です。関東同窓会の運営も難しくなってきました。

関東同窓会の円滑な運営のため平成十四年度会費(三千円)の納入を同封の振込用紙で、お願い致します。

なお振込用紙は会報の毎号に年会費の納入済み、未納に問わず同封しております事をご了承下さい。

○宛先不明のため、会報返送が毎回多数有ります。住所変更の場合は、至急ご一報の程お願い致します。

★ 会報の広告募集 年2回(2万円)にご協力をお願い致します。詳細は事務局までお問い合わせ下さい。

★ 事務局へのご連絡は……：〒101-0045千代田区神田鍛冶三三二二 敷下ビル六階 野方法律事務所内 野方重人(77期)

TEL 03・36251・2348

ハガキコーナー

今まで静高にないキャラクターです。写真の御礼まで。 73期 山梨 由記

67期 山川 静夫

★先の第二八回静中静高関東同窓会が盛会に済み、お疲れ様でした。役員皆様のご尽力に敬意を表します。また67期集合写真を人数分、早々にご送付頂き誠に有りがとうございました。本日各自に郵送しました。厚く御礼申し上げます。

67期 小杉 弘

★過日の関東同窓会ではお世話になりました。人数が多かった事、役者が揃っていた事で大盛会でした。本日態々写真を送して下さいまして有り難うございました。では、皆様、お元気で。

51期 原崎 郁平

★先日は、楽しい会にお誘い下さいまして有り難うございました。彼女(遠山さん)とは二年生の時、同じクラスでしたので本当に懐かしい一時を送れました。写真有り難う。

73期 小川 忠夫

★同窓会総会、お疲れさんでした。盛会で良かったですね。声を掛けてくれたお陰で遠山

さんを初め懐かしい級友の皆さんに久し振りに会う事ができました。有り難うございました。まずは御礼まで。

73期 加藤 元彦

★お手紙と写真をいただきました。総会に向けて大変な努力をお使いになり、ご苦労様でした。遠山大臣の雰囲気かテレビとは大分違います。素敵なイチ女性でした。同窓会では総てが味方という雰囲気です。リラックスしていました。大臣にも関東同窓会にとっても僥倖でした。

79期 上田 尚亮

★富士登山につれて行って清水港の近くで、富士山を眺めて育った「海っ子」が静高の近くに転居しても、浅間山の頂から眺める富士山にその内に登山したいと希望しておきながら、とうに六十歳を過ぎてしまいました。

平成十五年の夏頃の良き日に、先輩後輩の皆様を引率して登山計画を立てて下さる方を探しております。

73期 山梨 由記

TEL 047-476-6859
kingsml@cha.atr.ne.jp

編集後記

●総会の事、親睦の旅、江ノ島会、ゴルフ会と原稿が多く集まり編集会議では嬉しい悲鳴の連続でした。結果はご覧の通り増ページ。また新しいハガキコーナーも短いながら光っております。この会報が発行されるともう年末です。

●今回の発行は例年通り16ページ立ての予定が20ページとなりました。これも皆様からのご投稿のお陰です。どれも捨て難く掲載となりましたが、紙面の都合で各文章とも苦しみながら少しずつの削除をさせて頂きました。(Y) 新年が皆様にとりよい年でありますように祈ります。



鈴 与 株 式 会 社

取締役社長 鈴木与平 (76期)

清水市入船町11-1

TEL 0543 (54) 3015 (秘書課)

京浜支社 東京都港区芝公園1-2-12

TEL 03 (3432) 7152

日本レーベル印刷株式会社

代表取締役 岩井平一郎 (57期)

本 社 静岡市国吉田3丁目1番1号

TEL 054 (262) 1111 (代)

東 京 中央区京橋1-1-6 越前屋ビル8F

TEL 03 (3272) 4651 (代)

株式会社 富士越化成

代表取締役 野澤正憲 (64期)

東京都品川区南品川2-17-11

TEL 03 (5783) 3841

TEL 03 (5783) 3755

自動車・火災・傷害保険 大高保険事務所

代 表 清水雅尚 (77期)

東京都渋谷区東3-15-8

TEL 03 (3406) 9350

PHS 070 (5103) 8920

同窓会で人の輪を!!

野方重人法律事務所

弁護士 野方重人 (77期)

<事務所>

〒101-0045 千代田区神田鍛冶町3-7-3
敷下ビル6階

(TEL) 03 (3251) 2348

(FAX) 03 (3257) 0820

昼2時より夜11時まで診療

タカラ歯科診療所

代 表 タカラ 齋科名雄 (87期)

東横線 中目黒下車 徒歩5分

TEL 0120-376480

相続税・法人税・所得税などのご相談はどうぞ!

鳥巢修税理士事務所

税理士 鳥巢 修 (89期)

OSAMU TOSU

<事務所>

〒167-0041 東京都杉並区善福寺3-31-3

TEL 03 (3396) 3858 FAX 03 (3396) 3848

E-mail: tosu@mtj.biglobe.ne.jp

調剤薬局……首都圏に50店舗

株式会社 アイセイ薬局

「医薬分業のパートナー」

代表取締役 岡村幸彦 (93期, 応援指導部)

東京都中央区日本橋蛸殻町2-14-5

TEL 03 (5651) 7200

<http://www.aisei.co.jp>

プロ野球選手 ご愛顧 28年

あのホームラン王も・有名なピッチャーも あの名監督も・コーチも

★★★ 高級仕立・オーダーメイド イージーオーダースーツ ★★★

確かな技術と縫製でご奉仕します

紳士服の 山梨テーラー 山梨株式会社 代表取締役 山梨由記 (73期)

千葉県船橋市前原西7-5-8 TEL 047 (478) 6906